

## 平成30年度 第1回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成30年4月24日（火）9:00～10:10

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕有馬学長、宮元人文学部長、福田附属図書館長、川瀬地域研究センター長、辻学生部長、四方教務部長、年森委員、長友委員、近藤委員

〔事務局〕竹迫事務局長、梅村企画総務課長、山本学務課長、山本学生・就職支援室長  
鍋島企画総務課長補佐、宮畑学務課長補佐、梶原学生・就職支援室長補佐

配付資料

資料1 平成30年度宮崎公立大学名誉教授の選考について

資料2 平成30年度自主講座申請一覧

資料3 平成30年度科学研究費等採択状況

資料4 入学者の状況

委員及び事務局の紹介、委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### I 議事1 平成30年度宮崎公立大学名誉教授の選考について

企画総務課長から、資料1に基づき、平成30年度宮崎公立大学名誉教授選考のスケジュール案について説明がされた。5月7日～5月25日が候補者推薦受付、6月5日が教育研究審議会での推薦状況説明、6月の教授会での審議を経て、6月の教育研究審議会で審議し授与者の決定を行い、9月末までに授与式を行う予定であることが説明された。

審議の結果、了承された。

### II 報告1 平成30年度自主講座について

地域研究センター長から資料2に基づき、公開講座である平成30年度自主講座について、「中原中也と高森文夫」等、予想を上回る11件の申請が10人の教員からあり、予算の調整をしていることなどが報告された。

委員から、高校生への周知方法については、高校へのチラシ配付の他に、例えば日向市の広報誌の利用なども一つの方法として工夫いただきたいとの意見があった。また、件数が増えたことは学外への宣伝にもなり素晴らしいことであるので、予算についてはできるだけ支援をしていただきたいとの意見が出された。

附属図書館長から入試部会で高校訪問を行う際に、情報提供ができるとの意見や、年度ごとに高校重点講座、一般社会人講座などと対象者をバランスよく開催するのよいかとの意見が出された。

## 報告2 障がい学生支援室について

学生部長から今年度4月から設置された障がい学生支援室について、任期付職員が一人配置されており、学生への個別相談や学内及び学外関係機関との調整業務を行っていること、学生への後方については新入生オリエンテーションや履修ガイダンスで知らせていること、また、対象となる学生について担当となる教員へも学生対応の配慮についてお願いをすることが報告された。

## 報告3 平成30年度科学研究費等採択状況について

企画総務課長から資料3に基づき、平成30年度科学研究費採択状況について、代表としての採択は6件（新規3件、継続3件）、分担者としての採択は4件（新規1件、継続3件）計10件であったことが報告された。

## 報告4 平成30年度入学者の状況等について

学務課長から資料4に基づき、平成30年度の入学者は新入学生207名、編入学生0名で、新入学生の男女別は、男54名（26.1%）、女153名（73.9%）、新入生の県内外別では、県内101名（48.8%）、県外106名（51.2%）であることが説明された。

また、入学者の多い高校は、県内では宮崎北高校、県外では鹿児島県武岡台高校であったこと、さらに遠方からの入学者として北は北海道の千歳高校及び札幌国際情報高校、南は沖縄県の首里高校からの入学があったことなどが報告された。

委員から、毎年続いて入学者がいる高校については、そのつながりを大切にして今後も信頼関係を築いてほしいことや、入学者のいない高校についても高校訪問を行うことが今後につながっていく旨の意見が出された。

附属図書館長から平成27年度以降に県内の割合が増えてきているのは、平成26年度の新

しいカリキュラム開始による新しいパンフレット等での入試広報活動の効果があるのではないかとの説明や、県外の大分県については高速道路の開通でオープンキャンパスの見学が増えたこと、また推薦Ⅱの開始が県内外の新たな高校からの入学者について貢献しているのではないかとの説明があった。

### Ⅲ その他について

#### ●学生に選ばれる魅力ある大学について

委員からの公務員やIT企業へのインターンシップ及び理系に興味ある学生を増やすことについての質問に応え、学生・就職支援室長から県のインターンシップナビという窓口があり、毎年、県庁と市役所は数名が1週間ほど3年生の前期にインターンシップ参加をしていること、また市内のIT企業もインターンシップを行っており、今後も積極的に学生に案内を行っていくとの説明があった。次に理系に興味ある学生を増やすことについては、附属図書館長から、例えば、センター入試に変わる新テストでの入試改革時に入試の方法を検討することが可能ではないかとの説明があった。

次回開催日時 6月5日(火) 9:00 開催予定

## 平成30年度 第2回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成30年6月5日（火）9：00～10：10

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕有馬学長、宮元人文学部長、福田附属図書館長、辻学生部長、四方教務部長、川瀬地域研究センター長、年森委員、長友委員、近藤委員

〔事務局〕竹迫事務局長、梅村企画総務課長、山本学務課長、山本学生・就職支援室長、鍋島企画総務課長補佐、宮畑学務課長補佐、梶原学生・就職支援室長補佐、福元企画係長

欠席者：なし

### 配付資料

資料1 平成29年度業務実績報告書

資料2 第3期中期目標

資料3 平成30年度自主講座申請一覧

資料4 平成30年度後期開放授業開設科目について

資料5 平成31年度及び平成32年度研究支援年の実施について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事1 平成29年度業務実績報告（第2期中期計画期間5年目）について

竹迫事務局長から、資料1に基づき、平成29年度実績について、宮崎公立大学の概要の説明の後、教育に関する目標・研究に関する目標・学生支援に関する目標・大学改革に関する目標・地域貢献、国際化に関する目標について、実績と評価について説明がなされた。

委員より「4や2の評価はないのか」との質問があり、「4」評価が三つあること、及び、本評価は「実施できたかどうか」を指標に行われるものであるため、示したとおりのものになっていることを確認し、原案どおり承認された。

### 報告1 第3期中期目標について

福元企画総務課企画係長から、資料2に基づき、第3期中期目標策定にあたっての、その法的根拠・学内規程・策定スケジュール等について説明があった。

また、併せて、次回臨時開催予定の教育研究審議会にて、当該目標策定にあたって宮崎市へ述べる意見についての協議をお願いする旨の説明があった。

## 報告2 平成30年度自主講座について

川瀬地域研究センター長から資料3に基づき、平成30年度自主講座のスケジュールおよび内容等について報告がなされた。

委員からは、講座によっては高校の部活動を通して高校生へ周知ができるのではないかと、また、講座終了後の広報についても工夫をしてみてはどうかとの意見が出された。

## 報告3 平成30年度後期開放授業開設科目について

川瀬地域研究センター長から資料4に基づき、平成30年度後期開放授業開設科目について報告がなされた。

また、開放授業については問題も出てきていることから、地域貢献部会で色々と検討中である旨併せて報告がなされた。

委員からは、今の受講生が何を目的に受講しているのかアンケートなどで把握されているであろうが、(学ぶ/生きる)意欲に燃えている高齢(受講者)の方々もいるということも併せて検討していただきたいとの意見が出された。

## 報告4 平成31年度及び平成32年度研究支援年の実施について

鍋島企画総務課長補佐から資料5に基づき、平成31年度及び平成32年度研究支援年の実施に係るスケジュール(案)について報告がなされた。

委員からは、教員の熱望のもとに生まれた制度だけに、ここ数年希望者がいないのは残念である。是非活用していただきたいとの意見が出された。

## 報告5 平成30年度宮崎公立大学名誉教授の選考について

梅村企画総務課長から、平成30年度宮崎公立大学名誉教授の推薦はなく選考対象者はいない旨報告がなされた。

次回開催予定：平成30年7月上旬(臨時開催)

平成30年度 第3回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成30年7月3日（火）9:00～10:10

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕 有馬学長、宮元人文学部長、福田附属図書館長、  
川瀬地域研究センター長、辻学生部長、四方教務部長、近藤委員、  
長友委員、年森委員

〔事務局〕 竹迫事務局長、梅村企画総務課長、山本学務課長、  
山本学生・就職支援室長、鍋島企画総務課長補佐、  
宮畑学務課長補佐、梶原学生・就職支援室長補佐、福元企画係長

配付資料

- 資 料 1 第3期中期目標（案）について市長に対し述べる意見について
- 資 料 2 公立大学法人宮崎公立大学 第3期中期目標（案）
- 資 料 3 第2期中期目標と第3期中期目標（骨子案）の項目比較
- 参考資料1 公立大学法人宮崎公立大学 第2期中期目標
- 参考資料2 公立大学法人宮崎公立大学 第2期中期計画

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

## 議事1 第3期中期目標（案）について市長に対し述べる意見について

○福元企画係長から、資料に沿って説明があった。

○設置者である宮崎市が定める「公立大学法人宮崎公立大学 第3期中期目標（案）」のうち、大学の教育研究に関する事項について意見を集約した。

○教育研究審議会として、役員会に諮る意見の概要は次のとおり。

- ・情報教育に関し、本学のこれまでの取り組みを評価し、目標に盛り込むべきである。
- ・「学生の県内就職率の向上」という表現に対し、
  - \*離れていても、地域への貢献はできる（必ずしも県内へ就職する必要はない）。
  - \*建学の理念・目的に矛盾している（グローバルな人材育成）。
  - \*産業振興をまず図るべきではないか（県内企業の魅力を向上させる必要あり）。
- ・重点目標の中に宮崎市がやるべきことを盛り込むことが必要でないか。
- ・建学の理念・目的に合うよう「幅広く地域に貢献できる人材を育成する。」との表現が必要。
- ・学生の確保は、アドミッション・ポリシーに基づくべきでないか。
- ・大学の魅力ある発展を考えると優秀な学生の確保が必要であり、広く学生を受け入れるべき。
- ・「大学の特色を生かした地域貢献」であれば、人文学部として受け入れやすいのではないか。
- ・リカレント教育について、学び直しは、非常に良い考えであり、生涯学習だけでなく、社会人入学を広げていく形で今後検討していく必要がある。
- ・開学30周年に向けて、様々な取り組みを大学には行ってもらいたい。

次回開催日時 平成30年7月24日（火） 9:00開催予定

平成30年度 第4回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成30年9月25日（火）9:00～10:10

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕 有馬学長、宮元人文学部長、福田附属図書館長、  
川瀬地域研究センター長、辻学生部長、四方教務部長、近藤委員、  
長友委員、年森委員

〔事務局〕 竹迫事務局長、梅村企画総務課長、山本学務課長、  
山本学生・就職支援室長、鍋島企画総務課長補佐、  
宮畑学務課長補佐、梶原学生・就職支援室長補佐

配付資料

- |       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 資 料 1 | 教員の承認にかかるスケジュールについて           |
| 資 料 2 | 平成33年度入学者選抜における変更について         |
| 資 料 3 | 宮崎公立大学保護者説明会（概要）              |
| 資 料 4 | 平成30年度公費留学生（受入れ）について          |
| 資 料 5 | 平成30年度コーディネート科目「宮崎の郷土と文化」について |

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 参考資料1 | 公立大学法人宮崎公立大学教員選考規程      |
| 参考資料2 | 公立大学法人宮崎公立大学教員等資格審査取扱要綱 |
| 参考資料3 | 自薦に伴う必要資格               |

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。



## I 議 事

### 議事1 教員の昇任について

鍋島企画総務課長補佐から資料1、参考資料1. 2. 3に基づき「教員の昇任について」説明がなされた。

委員より「公立大学法人宮崎公立大学教員選考規程」の第1条の講師の表記については、法律等の改正によって現在では一般的には使われなくなっているため再検討した方がよいのではないかとの意見があった。他の伴う部分も含めて確認の上改正することになった。

原案どおり承認された。

### 議事2 平成33年度入学者選抜における変更について

福田入学試験部会長から資料2に基づき、「平成33年入学選抜における変更について」説明がなされた。

委員より「入試から選抜に改めた理由は何か」との質問があり、「入試は、ペーパー試験をイメージするが、それだけでなく高校3年間の様々な活動や学力の3要素から多角的に評価して合格者を選ぶことになるから」と回答。

委員より「宮崎公立大学のカラー、宮崎公立大学はこのような高校生をほしいとか、大学としてこんな学生を育てていきたく、しっかり出してほしい」との意見あり。

原案どおり承認された。

## II 報 告

### 報告1 平成30年度保護者説明会について

梅村企画総務課長から資料3に基づき、「平成30年度保護者説明会について」説明がなされた。

本年度は、凌雲祭に合わせて保護者説明会を開催する。大学祭での学生の発表や学生生活を知る機会にもなる。

特に意見なし。

### 報告2 平成30年度公費交換留学生の受け入れについて

川瀬国際交流部会長から、資料4に基づき、「平成30年度公費交換留学生の受け入れについて」説明がなされた。

特に意見なし。

### 報告3 平成30年度コーディネート科目「宮崎の郷土と文化」について

山本学務課長から、資料5に基づき、「平成30年度コーディネート科目『宮崎の郷土と文化』について」説明がなされた。

委員より「受講者数は横ばいか。」との質問あり、「本大学の受講者数により増減の幅がある。今年度は、本学学生の受講者数が少なかったが、県民一般受講者16名、高校生受講者17名が参加する」と回答。

### 報告4 平成30年度後期開放授業開講科目について

川瀬地域貢献部会長から、「平成30年度後期開放授業開講科目について」説明がなされた。後期開放授業開講科目が当初の16科目から15科目へ1科目の減となった。受講生は、46名。特に意見なし。

## III その他

鍋島企画総務課課長補佐から6月の教育研究審議会にて、「研究支援年実施について」の報告があったが、この応募がなかったことが報告された。

次回開催日時 平成30年10月30日（火） 9:00開催予定

日 時：平成30年11月26日（火）9:00～10:10

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕有馬学長、宮元人文学部長、福田附属図書館長、辻学生部長、  
四方教務部長、川瀬地域研究センター長、年森委員、近藤委員  
（欠席）長友委員

〔事務局〕竹迫事務局長、梅村企画総務課長、山本学務課長、山本学生・就職支援室長  
鍋島企画総務課長補佐、宮畑学務課長補佐、梶原学生・就職支援室長補佐

配付資料

資料1-1 中期計画に係る地方独立行政法人法の規定

資料1-2 中期計画の構成

資料1-3 公立大学法人宮崎公立大学第3期中期計画（案）

資料2 平成30年度宮崎公立大学保護者説明会実績報告について

資料3 推薦入試等の志願者状況について

資料4-1 MMUオープンキャンパス参加者の推移について

資料4-2 2018 8月MMUオープンキャンパスアンケート結果の概略

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事1 第3期中期計画（案）について

福元企画係長から、資料1-1、1-2、1-3に基づき、第3期中期計画（案）について、地独法における計画の位置づけ、中期計画の構成、期間及び骨子について説明があった。

なお、資料1-3については、当日差し替えを行い、事前配布資料と異なる点（具体的施策の個別シートについての記載方法の変更、図書館に関する施策の削除、骨子ページの追加）について説明を行った上で、計画の中の教育研究審議会担当部分である「3教育に関する目標」から「6国際化に関する目標」および「10大学改革に関する目標」について計画内容についての説明があった。

委員からは、①「国際文化学の解釈について」、②「情報教育の扱いについて」質問があり、

① については、異なる文化圏の理解や、異なる学問分野を横断的に学ぶものであり、自然科学や芸術、情報教育も含まれる等の説明が四方教務部長よりあった。

② については、現行カリキュラムの見直しを行い、新学科の新設も視野に入れ、外部からの意見を頂きながら情報教育も含め、「10 大学改革に関する目標」の中で検討していく等の説明が学長よりあった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

## 報告1 保護者説明会の実績報告について

梅村企画総務課長より、資料2に基づき、本年度の保護者説明会実績について、10月27日の凌雲祭に併せて開催し、参加者82組113名、個別相談会33件、就職ガイダンス106名という参加状況及び、アンケート結果から高い満足度であった旨の報告があった。

委員からは、(アンケートに基づく)公務員志向地元志向という保護者の意見に対して、(公務員を目指す入学者に魅力的となるよう)実績の積み上げと広報に勤め学生獲得に繋げてほしい、宮崎市の職員採用に公立大卒の要望を、アンケートの工夫をして公務員の種別がわかるようにしてはどうか等の意見があった。

## 報告2 推薦入試等の志願者状況について

山本学務課長より、資料3(当日差し替え)に基づき、11月24日、25日に推薦入試を実施し、推薦入試Iについては、昨年より5名増の79名であったこと、私費外国人の受験生が増えているのは中国・韓国での就職が厳しい反面、日本国内の雇用が良いことやそもそも国公立大の私費外国人卒が少ないためではないか、という説明があった。

## 報告3 オープンキャンパスの実施報告について

山本学務課長より、資料4、4-1、4-2に基づき、今年度のオープンキャンパスの実施状況について、(3回実施の合計)生徒530人、保護者231人の合計761人であり、過去最高の参加者だった旨の説明があった。

委員から、入試改革のため高校サイドは1年生からのオープンキャンパス参加を呼び掛けおり、参加者が多い傾向は今後も続くであろう、本学学生がオープンキャンパスで話した内容で本学受験を決めた受験生がいたことについては(その情報を)学生にもフィードバックしてはどうか、本学学生については、出身高校がわかる名札着用や学生の出身高校からの参加者を引率させてはどうか、卒業生にも参加してもらってはどうか、等の意見があった。

次回開催日時 12月25日(火) 9:00 開催予定

審議日：平成30年12月25日（火）

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕有馬学長、宮元人文学部長、福田附属図書館長、川瀬地域研究センター長、  
四方教務部長、辻学生部長、年森委員、長友委員、近藤委員  
〔事務局〕竹迫事務局長、梅村企画総務課長、山本学務課長、山本学生・就職支援室長

配付資料

資料1 平成31年度学年暦について

資料2 卒業論文の作成及び公表基準について

その他資料 推薦入試等の志願者状況について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事1 平成31年度学年暦について

資料1に基づき、四方教務部長から平成31年度の学年暦について説明がなされた。授業回数は今年度とほぼ同様で授業15回、試験1回の合計16回であること。曜日の振りかえを極力減らして後期の2回だけであること、凌雲祭の日程を神武様と重ならないようにしたこと等が説明され、提案どおり了承された。

また、2020年度からは、春休みや夏休みに実施している異文化実習の日程などを考慮して、授業14回、試験1回の合計15回となることが教務部会で決定されているとの報告があった。

### 議事2 卒業論文の作成及び公表基準について

資料2に基づき、四方教務部長から卒業論文の作成及び公表基準について現状と合っていないところを現状に合わせる形で改訂したとの説明がなされた。従来、正本を教員、副本を図書館で保存することになっていたが、保存期間が明確でなかったため、保存期間を明確化し正本を指導教員が5年保管すること、教員が退職したり他大学に移ったりした場合は教務担当が期限まで保管すること、また、昨今の個人情報保護の観点から副本を電子データとし特定の場所で5年間閲覧すること等が説明され、原案とおりに了承された。

委員より規程の中で学務課と教務担当という表現が混在していることが指摘され表現を統一す

ることになった。また、辻学生部長より5年間の閲覧について、学生の承諾が必要ではないのかとの問題提起がなされた。

### **その他1 推薦入試等の志願者状況について**

資料に基づき、山本学務課長より推薦入試の状況について説明がなされた。

推薦入試Iでは、受験者79名に対し56名が合格し倍率が1.4倍となったことや私費外国人、社会人入試、編入学等の報告があった。

報告に対し、委員より推薦入試については、私立も含めて県内全体から来ており良いことではないか、高校の状況により指定枠を見直していいのではないかと意見や産業系の高校からも来ており、情報系など高校時代の学びを活かせる取り組みを行うことで県内就職にもつながってくるのではないかと意見が出された。

### **その他2 定期公開講座について**

川瀬地域センター長より、定期公開講座が今年度も宮崎ケーブルテレビで放送されるとの報告があった。

毎週、月曜日と金曜日に放送され、初回は1月7日に福田先生の講座があるとのことであった。

次回開催日時 1月29日(火) 9:00 開催予定

審議日：平成31年1月29日（火）

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕 有馬学長、宮元人文学部長、川瀬地域研究センター長、四方教務部長、  
辻学生部長、年森委員

（欠席） 福田附属図書館長、長友委員、近藤委員

〔事務局〕 竹迫事務局長、梅村企画総務課長、山本学務課長、山本学生・就職支援室長

配付資料

資料1 「平成28年度以降の編入学における単位認定等の指針」の見直しについて

資料2 平成28年度以降の編入学における単位認定等の指針

資料3 一般編入学・私費外国人留学生編入学 個別および包括認定対象科目一覧

その他 インドネシア・北スマトライスラム大学（UISU）の現地視察について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

## I 議事1 編入学における単位認定等の指針について

資料1に基づき、四方教務部長から編入学における単位認定等の指針の見直しについて説明がなされた。2018年より、東アジア言語（中国語・韓国語）が選択必修科目から選択科目へ変更になったことに伴う包括単位の一部見直し、及び2年次編入や3年次編入において卒業までスムーズに単位取得ができるよう包括認定単位の対象となる科目の見直しを行った。これにより、2年次編入は包括認定単位30単位プラス個別単位2単位の合計32単位から、包括認定単位32単位プラス個別単位8単位とすること、3年次編入は包括認定単位30単位プラス個別認定単位30単位の合計60単位から、包括認定単位50単位プラス個別認定単位10単位の合計60単位とすることが説明され、提案どおり了承された。

## II その他1 北スマトライスラム大学（UISU）への現地視察について

北スマトライスラム大学（UISU）への現地視察について

資料に基づき川瀬国際交流部会長より、2月下旬から3月上旬にかけて教職員を北スマトライスラム大学へ現地視察に派遣するとの説明がなされた。現時点では協定校となるかどうかは未定である。2018年10月にUISUの教員6名が本学に来学し、英語教育に関する国際シンポジウムに参加され、その折に本学国際交流部会と将来の国際交流の可能性について協議を行っている。

委員より、東アジアは急速に経済発展を遂げてきており、将来的にインドネシアを拠点とする考えもあってよいのではないかとの意見が出された。

## その他2 平成30年度入学者選抜の志願者等の状況について

山本学務課長より推薦入試Ⅱの志願者が70名となり、昨年度より9名増えていること、現在一般入試前期・後期の募集中であることが説明された。

次回開催日時 2月26日（火） 9:00 開催予定



日 時：平成31年2月26日（火）9:00～10:10

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕 有馬学長、宮元人文学部長、福田附属図書館長、辻学生部長、  
四方教務部長、長友委員、年森委員、近藤委員  
（欠席）川瀬地域研究センター長、  
〔事務局〕 竹迫事務局長、山本学務課長、山本学生・就職支援室長  
鍋島企画総務課長補佐、宮畑学務課長補佐、梶原学生・就職支援室長補佐  
（欠席）梅村企画総務課長

配付資料

- 資料1-1 平成31年度開講科目一覧
- 資料1-2 2019年度 宮崎公立大学 授業時間割
- 資料2-1 宮崎公立大学学生の授業出席に関する内規の改正および  
特別欠席に係る諸手続きの見直しについて
- 資料2-2 宮崎公立大学学生の授業出席に関する内規
- 資料3-1 規程の一部改正について（案）
- 資料3-2 公立大学法人宮崎公立大学授業料等の徴収等に関する規程
- 資料4-1 宮崎公立大学教員免許状更新講習実施要綱
- 資料4-2 免許状更新講習実施要綱に関する参考資料
- 資料5 なし
- 資料6 平成30年度前期開放授業開設科目について
- 資料7 入学者選抜志願者等の状況

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

### 議事1 開講科目一覧及び時間割について

四方教務部長から、資料1-1、2に基づき、変更のある部分を中心に、平成31年度開講科目及び時間割について説明がなされ、原案どおり承認された。

### 議事2 宮崎公立大学学生の授業出席に関する内規の改正について

四方教務部長から、資料2-1、2に基づき、改正の理由と内容についての説明がなされ、原案どおり承認された。

### 議事3 公立大学法人宮崎公立大学授業料等の徴収等に関する規程の改正について

教務係から、平成31年度より開講を予定している「教員免許状更新講習」の受講料を徴収することに伴い、その徴収方法や金額等について定める必要があるため規程の改正を行う旨、また併せて、本規定の別表の備考について現状に即した文言への変更と削除をする旨について説明がなされ、原案どおり承認された。

#### 議事4 教員免許状更新講習実施要綱の制定について

教務係から、平成31年度より開講を予定している「教員免許状更新講習」について定める教員免許状更新講習実施要綱の制定の理由とその内容について説明がなされ、以下の質疑応答の後、原案どおり承認された。

委員：宮崎大学との教科による住み分けはあるか。

教務係：本学では英語を中心に実施する。宮崎大学は幅広い科目設定をしているため、本学が本学の強みである英語教育に特化して実施することで受講生確保はできると考えている。

委員：本学の学生の教員免許状取得希望者はどれくらいか。

教務係：各学年コンスタントに20名ほどが希望し、最終的に15名ほどが免許状を授与されている。

委員：小学校免許が追加され希望者は増えているか。どのくらい増えているか。

教務係：増えている。5、6名ほどは増えていると考えている。

委員：教員免許状取得希望者が少ないような気がするが…。

教務係：最初の段階の希望者はもう少し多いが、本学の場合、将来本気で教員を目指すということを説明会の場などで学生に伝えているため、結果的にこの人数となっている。

委員：広報はどのように行うのか。

教務係：広報は文科省への申請前であっても「申請予定・申請中」として行うことができるため、3月から宮崎市の校長会に出向くなどして積極的に広報（告知）をしたいと考えている。

#### 報告1 平成31年度前期開放授業開設科目について

（川瀬地域研究センター長欠席のため）鍋島企画総務課長補佐から、資料6のとおり平成31年度前期開放授業の科目を開設することの報告がなされた。

#### 報告2 平成31年度入学者選抜試験実施状況について

山本学務課長から、資料7-1に基づき平成31年度入学者選抜試験実施状況について報告がなされた

次回開催日時 3月19日（火）9：00～10：10

## 平成30年度 第9回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成31年3月19日（火）9:00～9:55

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕 有馬学長、宮元人文学部長、福田附属図書館長、  
川瀬地域研究センター長、辻学生部長、四方教務部長、  
近藤委員、長友委員、年森委員

〔事務局〕 竹迫事務局長、梅村企画総務課長、山本学務課長、  
山本学生・就職支援室長、鍋島企画総務課長補佐、  
宮畑学務課長補佐、梶原学生・就職支援室長補佐、福元企画係長

欠席者：なし

### 配付資料

- |       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 資料1-1 | 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程（新旧対照表）     |
| 資料1-2 | 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程            |
| 資料2   | 公立大学法人宮崎公立大学 第3期中期計画（案）       |
| 資料3   | 公立大学法人宮崎公立大学 平成31年度計画（案）      |
| 資料4   | 平成31年度入学者選抜試験の実施状況について（年度別推移） |

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続き、学長の進行で、議事に入った。

## I 議事

### 議事1 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改定について

○四方教務部長が、資料1-1、1-2に基づき、改定点、その理由を説明し、原案のとおり承認される。

### 議事2 第3期中期計画（案）について

○竹迫事務局長が、資料2に基づき、前回（11月）説明後、宮崎市との連携推進会議、評価委員会を経て、変更となった点について説明し、原案のとおり承認される。

#### ○主な意見

- ・目標が数値化されることで、具体化し、責任が伴う。大学は、本来、開かれたものであり、数値化は難しいので、この数値を踏まえながら、大学の本来のあるべき姿を目指していただきたい。

### 議事3 平成31年度計画(案)について

○竹迫事務局長が、資料3に基づき、平成31年度の主な取組を説明し、原案のとおり承認される。

○主な意見

・優秀な学生の確保、県内出身者の入学促進、県内への就職等に関し、「公務員」に対する視点がない。本学の3専攻の中に国際政治経済があり、その設置目的に公務員の育成も含まれるのではないか。県内行政のリーダーを育成するという文言があってもよいのではないかと思う。

・市町村が、推薦で学生を本学に入学させ、卒業後はその市町村に戻り活躍するような仕組みがあれば、県内出身者の確保と県内就職が進むのではないか。

・学校ごとの推薦枠だけでなく、市町村ごとの推薦枠について検討も必要でないか。

・自治体近隣に高校がないところでは、学生を自治体内に戻すため、卒業後戻れば返還を免除する奨学金制度があるところがあり、その制度の適用を本学までひろげるような町村との連携についての働きかけも検討してはどうか。

・リカレント教育に関連して、社会人入学制度があり、また、免許状更新にも来年度から取り組んでいく。教員の採用年齢の引上げに伴い、働き出して教員を目指す者が、必要な単位等を取得でき、教員を受験できる制度を検討してはどうか。また、英語教員の学び直し・リカレントができる場を検討してはどうか。

## II 報告

### 報告1 平成31年度入学者選抜試験の実施状況について

○山本学務課長が、資料4に基づき、実施状況を説明する。

## III その他

○なし

次回開催日時 平成31年4月23日(火) 9:00開催予定